

第4次岡谷市総合計画に対するパブリックコメントの公表について

岡谷市意見提出手続実施要綱(別紙)第8条第2項に基づき、第4次岡谷市総合計画に対して提出された意見に対する市の考え方を公表します。

なお、パブリックコメントは、8月26日から9月30日まで行い、寄せられた意見は岡谷市基本構想審議会に報告し審議の参考としました。

(「市の考え」の課名は担当課等)

【意見1】

1 子育てについて

未満児保育(0~2)才児を受け入れている保育園が少ないので改善してほしい。

(市の考え:子ども課)

保育園運営計画のなかで、「今後の未満児保育の需要の増加に対して、大規模改修等の際に、地域の需要動向を見極めながら環境整備を行う」こととしています。

2 ララについて

総合産業振興施設という位置づけとすれば良いと思う。

(市の考え:企画課)

現施設活用の可能性も含めて、駅周辺の活性化につながる具体的な事業手法を検討しています。

3 土地開発について

岡谷は供給不足なので、ニュータウンを開発することも必要ではないか。

(市の考え:企画課)

狭い土地事情と豪雨災害による保安林指定の広がりもあり大規模な開発は困難ですが、自然環境と調和のとれた土地の活用を進めます。

4 市民病院移転について

保健センターや図書館などとの併設で利便性を高めながらも経費削減を図ったらどうか。

(市の考え:企画課)

病院事業については、岡谷市病院改革プランを作成し、今後の経営や施設のあり方などをまとめました。そのなかで、新病院の建設についても検討を進めることとしています。

【意見2】

初めてフォーラムに参加させていただき、市長さんの考え、部長さんのお話、又課長さんの説明等、先日届けられた冊子が難しいの一言だったのですが、少しばかりですが、分かった部分もあり参考になりました。幅広い層の方々にもっともっと意見を聞いていかれることを望みます。

本当に様々な事を考えている方がいることを知れたことで、私自身も、もっと関心を持っていきたいと思いました。有難うございました。

(市の考え：企画課)

さまざまな手法を用いて市民の皆様の意見を総合計画に反映してきました。「市民総参加のまちづくり」を総合計画の推進に向けた重要なポイントに位置づけ、今後もより一層の市民参加の推進に努めていきます。

【意見3】

人口流出防止のためにも、企業誘致は欠かせないと思いますが、既存の企業流出を止めるためにも努力をしてほしい。ある企業主の話で、「住宅地で仕事をしているが、環境面と広さで、他へ移りたい。零細企業の団地等があればよいと思っている。」と悩んでいました。空き工場の敷地利用など何らかの対策は必要と思われます。

また勤労者福祉のため、勤青ホーム廃止など公共施設のあり方で連婦会長が言ったように、後退のないよう考慮されたい。

またスポーツ振興で管理者制で後退のないよう、活力ある、元気な岡谷市にしていだくようお願いしたい。

(市の考え：企画課)

人口の減少傾向に歯止めをかけるためには、産業振興により活力とにぎわいを創出し、勤労者福祉の向上を図ることが重要です。前期基本計画の重点プロジェクトである「たくまし産業の創造」をめざして、さまざまな産業振興施策を展開していきます。

公共施設のあり方検討においても、できるかぎり市民サービスの後退を招かないよう配慮しながら検討を進めます。

【意見4】

環境をベースにして問題点を考える。これからは目標を達成するために、環境の立場から考えたり、見たりしていきたいと思います。

(市の考え：環境課)

これからの時代を考えると環境問題が重要なテーマであり、基本目標3に「自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち」を掲げて各種施策を推進します。

【意見5】

仕事と子育てのできる環境というが、企業側にその環境を整えてもらわないと不可能な面もある。(中小企業の苦しい事情もありますが)行政からも折にふれ企業側理解を求める努力をしてほしい。

(市の考え：工業振興課、子ども課)

前期基本計画の重点プロジェクトの「輝く子どもの育成」では、子育て環境の充実を図るとともに、母親の就労機会を増やし女性の社会進出も促します。

平成20年度より市民の提案事業として「労働と子育てを両立する母親就労支援事業」を企業の協力を得て実施しています。

【意見6】

工業・産業の振興を最優先にするお考えは大賛成ですが・・・現に大手企業が流出してしまっている状況で、どうやって誘ってこられるのか。市民がどのように関わっていったらいいのか。疑問です。

(市の考え：産業振興戦略室)

企業誘致は、岡谷市特有の狭い土地事情から多くの課題がありますが、空き工場の活用や工場適地の開発により、企業の立地促進、誘致を進めます。具体的な取り組みとして、新たに「企業立地支援補助金」や「工場用地転用促進事業」、「企業誘致フェアへの出展」、「日本立地センター活用事業」を実施します。

医療体制の充実・・・医師の確保は勿論ですが、看護婦・看護師の指導も必要と思われます。対応の良い人悪い人様々です。又科によっては待ち時間が長く、何とかならないかとの声が聞かれます。

(市の考え：病院事業)

岡谷市病院改革プランにおいて、病院事業のあり方をまとめており、市民や地域に愛される病院をめざして病院統合を進めていきます。

【意見7】

私に何か参加できることはないか考えています。

フォーラムにはいつも同じ顔ぶれで、もっと一般市民に知らせる方法を考えたいと思います。「市民総参加」の言葉も、もう聞き慣れすぎて軽い感じですが。一人が必ずどこかに参加する。どこに「私は参加する」と申告してもらおう。募集する。それを一年間経った所で反省し、報告してもらおう。どんな小さなことでもよい。ボランティアなど、申告をすると責任を感じてやれると思います。リタイヤした男性に特に参加してもらいたい。女性は色々な会でボランティアしています。

(市の考え：企画課)

市民参加にはさまざまな形がありますが、これらを結集して大きな力とするため、ボランティアでまちづくりに取り組む個人や団体を登録する「(仮称)まちづくりバンク」を設立します。また、「シニア観光プロデューサー事業」や「岡谷のまちづくりマネージメント事業」により、団塊の世代を中心に提案公募により市政への参画を進めていきます。

【意見8】

市民にわかりやすくするため、官民協働のプロジェクトとして、産業プロジェクト、福祉プロジェクト、環境プロジェクト、教育プロジェクト、都市空間プロジェクトというのをつくって、行政と民間のネットワーク化・市民有志の参加促進をしたらどうか。

プロジェクトをつくることで、プロジェクトに関連する部署が集まって目標達成に向けて動くため、縦割りにならないのではないか。

(市の考え：企画課)

それぞれの分野において民間企業や市民の市政参加が進んでいます。前期基本計画においても各分野の横断的な取り組みとして「たくましい産業の創造」と「輝く子どもの育成」を重点プロジェクトとして掲げ、市民との協働のまちづくりを進めていきます。

【意見 9】

体の不自由な人にとって(子供)岡谷の街が住み良くなること、それこそ魅力的な事だと思う。福祉でも何でも。

(市の考え：社会福祉課、都市計画課)

岡谷市交通バリアフリー基本構想、岡谷市地域福祉計画、および岡谷市障害者福祉計画に基づき、子どもやお年寄り、体が不自由な方にとってやさしいまちづくりを進めています。

具体的には、平成 20 年 3 月におかやバリアフリーガイドマップを策定し、体の不自由な人にとって利用しやすい施設の周知を図っているほか、新たに「岡谷駅構内へのエレベーター」を設置します。

【意見 10】

非の打ちどころのない立派な計画だと思いましたが、高齢化が進むなかでこれを実現するための財源はどうなっているか知りたいと思った。

夜が人口 53,000 人でも、昼間の人口は 60,000 人近くにできないものか。例えば新病院に優秀な医師を招いてがん専門の病院にすとかホスピス病棟を増やして県内外からも患者を受け入れるとか、看護学校のような特殊な専門学校をつくるとか。

東洋のスイスと言われる地の利を生かして特殊な技術を持った人たちを育てました。そのような若者が働く場所を得て結婚をし、子供を増やし、定着してくれる町になってほしいと思いました。

(市の考え：企画課)

人口問題はさまざまな要素が関連する難しい問題ですが、あらゆる方策を検討し、まちの活力とにぎわいを創出する人口の定着を図ってまいります。特に優れた人材の活用として、団塊の世代を中心に優れた技能を提案公募により岡谷のまちづくりに活かす「岡谷のまちづくりマネージメント事業」を実施します。

【意見 11】

市民フォーラムに参加し、防災と医療部門が黄信号で、財政が赤信号だと感じました。

以前市町村合併にかなりの時間と投資をしたが、実現できず残念です。昔に比べ交通・情報が便利になっているので再度進めるべきです。

(市の考え：企画課)

市町村合併については、過去の合併経過を踏まえながら、情報提供や民意の把握に努め、将来の合併機運の高まりに備えて仕組みづくりを検討します。

食品の包装・容器は種類が多く、ほとんどリサイクル可能の表示となっているが、実際はまだ対応できていないようなので、これも回収できればかなり減量できる。

(市の考え：環境課)

平成22年4月のプラスチック製包装容器の分別回収開始に向けた準備を進め、可燃ごみの減量と資源化を図ります。

高齢化が進んでいるが、スポーツや芸術・文化活動、ボランティア活動などが活発になれば自然に人との交流が盛んになり、ひいては町が活性化するので高齢者の力も活用すべきと思います。

(市の考え：企画課)

団塊の世代を中心に長年培った技能をまちづくりに活かすため「岡谷のまちづくりマネージメント事業」を実施し、雇用機会の創出と高齢者の生きがい対策にもつなげていきます。

【意見12】

長期にわたる岡谷市総合計画は市民各々が市民参加の意識を高めていくことが必須条件だと思います。

基本目標に掲げる全ては一人一人の力があって成り立っていくもの。市民参加なくしては「輝くたくましい岡谷」の実現はないと感じます。

市政懇談会、市民フォーラムに参加する市民は市政に関心のある方で、自主的に参加されない方の意識をどのように高めるかが問題。岡谷は地域内のつながりは強いものがある。「家庭ごみ有料化」の説明のようにきめ細かい懇談が必要。

総合計画の策定に携わった方々の努力に感謝したい。

(市の考え：企画課)

「総合計画の推進に向けて」取り組む項目の柱として「市民総参加のまちづくり」を掲げています。より多くの市民が市政に関心をもち関わりを持つよう、市政参画の機会を増やし参加を呼びかけていきます。

【意見13】

2 - 3 観光の振興について

受入体制の整備が必要。

宿泊施設や食事出来る場所を充実させる。旧ヘルシーパル等を有効活用できないか。姉妹都市との交流をもっと盛んにする方策を検討する。

(市の考え：商業観光課)

新たな観光事業の創出をめざして「シニア観光プロデュース事業」や岡谷市伝統の「近代化産業遺産」や「ものづくり」を生かした観光振興を図っていきます。

9 - 2 治山・治水事業の推進について

18年の災害の経験から「災害に強い森林づくり」の必要性を強く感じる。2 - 4の「岡谷市森林整備計画」とリンクさせた活動の推進を図る。

(市の考え：農林水産課)

豪雨災害の教訓を忘れることなく、災害に強い森林づくりに努めます。土地利用構想では、森林保全ゾーンを設定し、豊かな自然を守っていきます。

9 - 3 生活安全対策の推進について

交通安全施設の整備・・・国道20号の長地小以東の歩行者の安全確保（一部歩道が狭く側溝部分だけでガードレールもない）

(市の考え：都市計画課)

安全対策については、引き続き国・県との連携により幹線道路網の整備に努めるとともに、身近な生活道路について、安全施設の設置などを進めていきます。